

町会だより

2025年度
No.8

発行日 令和7年12月8日
発行所 人見町会
発行責任者 会長 千賀 慎一

親子孫三代で楽しく

～ 21日にクリスマス会 ～

プログラムは盛りだくさん



どなたでも参加できます

17日まで受け付け

クリスマス会はどなたでも参加できます。

ご家族、ご近所などお誘い合わせてご参加ください。参加は無料です。幼児から高齢の方まで、三世代間の交流の機会としてお楽しみください。

● プログラム
午後1時30分～3時・人見町会館2F大広間

- ① みんなでツリーを飾ろう
- ② クイズ「クリスマス」
- ③ クリスマスらしいモノを作ろう
- ④ ♪パーティー♪
- ⑤ たのしいゲームをしよう
- ⑥ おみやげをもらおう

● 申込方法

12月17日(水)までに、町会館事務室前にある用紙に記入し、箱に入れてください。

赤い羽根共同募金への協力
ありがとうございます

11月中旬から月末にかけてご協力をお願いしております赤い羽根共同募金(封筒募金)の寄付は、25名(うち匿名3名)の方から、合わせて3万6千円が寄せられました。

封筒募金でお寄せいただいた寄付は、近日中に共同募金の事務局に届けます。

(お忘れになっていた方は、もう少しの間お受けしますので役員までお届けください)

なお、町会ではお世話いたしません。が函館市共同募金委員会などでは、「歳末たすけあい運動義援金」(12月31日まで)を受け付けております。

移動図書館車 ともしび号
12月15日(月)
1月5日(月)19日(月)
いずれも13:10～14:10
人見町会館駐車場にとまります。

コロナ、インフルエンザなどが流行しています。ウガイ・手洗い・水分補給をいねいに実行して当日にそなえてください。症状があるときは申し込んでいても無理しないで休みください。当日は検温も行います。

「全市防災部長研修会」(12月6日)に出席した松島防犯防災・交通部長の報告です。

函館や道南の防災士の方々や市の担当者からおはなしがありました。

函館市から 函館市災害対策制度から、避難所地域協力員制度(地域が避難所を開場できる取組)や、避難行動要支援者制度、地域防災訓練の支援制度、防災士資格取得支援制度の取り組みについて。

「7月のカムチャッカ半島地震津波警報と避難指示に関するアンケート調査報告」

課題としては、避難の移動手段は基本的に徒歩であるべきなのに、75%が自動車を使ったため、渋滞が起きたこと。現実には自動車が必要な人もいます。

警報中に86%の人が避難を終了したこと。奥尻の場合は第2波、第3波の方が津波が高かったので自主判断は慎重にすべきである。

避難先の37%が指定避難ビル。31%がその他で高台など。これらには備品や食料などの備蓄がないので、3日分の飲料水や食料を準備すること。(救命・救助が最優先)

外国人向けアンケートより、日本語も英語も不得手な人が多かった。特に20代は8割もいた。地域にもこのような方々がいるはず。

「7月の津波警報・避難指示に伴う課題についてのパネルディスカッション」

課題としては、避難所に地域の勤労者が集まり、地域住民が少なかったことから、地域住民の避難が行われると対応ができなくなる。

避難所と避難場所・津波避難ビルの違いの理解が進んでいない。避難所は水、食糧寝具など備蓄があるが、避難場所(学校のグラウンドなど)や津波避難ビルには無い。

町会館の備蓄自体はいいことだが更新の負担がある。できる範囲でやるしかない。情報の取得はラジオが50%以上。町会でも、放送や公式のSNSの情報が電池で手に入る情報端末が必要。

と感じました。